

当社がSDGsに取り組み始めた経緯 そして、Y-SDGs 認証後の変化



2021年10月19日（火）

原貿易株式会社

代表取締役社長

江守雅人

Copyright©2021 All rights reserved by Hara Trading



原貿易株式会社（横浜市神奈川区）

横浜市の三溪園を作った原富太郎（原三溪）が養子入りした原商店・原合名をルーツに持つ原産業を前身に持つ。60年前には繊維商社として絹織物のスカーフやマフラーを輸出し、スクリーンプリントに使う織物、タイプライターに使うリボン生地などの輸出をしていた。印刷技術に関係する仕事をしてきたことから、1990年前半に、レーザープリンタ用のトナーカートリッジのリユース事業に参入し、機能部材製品部で継続している。繊維生活関連部門では、繊維製品以外にもベビー&キッズ向け用品も手掛け、バイオプラスチック食器などのものづくりも行うようになった。

設立： 1955年7月16日
資本金： 2,000万円
代表者： 取締役社長 江守 雅人
所在地： 神奈川県横浜市神奈川区松本町4-33-1（本社）
神奈川県綾瀬市（物流センター）
従業員： 25名

プロフィール



原貿易株式会社
代表取締役社長 江守雅人
1971年生まれ 神奈川県横浜市出身
1994年 米国ワシントン州立大学(Washington State University) 経営学部卒業
2001年 日商岩井繊維株式会社（現：帝人フロンティア株式会社）退職後、
原貿易株式会社に入社
2009年 原貿易株式会社 5代目社長に就任

家族（妻、男の子3人）で東京都スキー連盟「日本パラマウントスキークラブ」所属。
「仕事は楽しく、遊びは真剣に」で、家族とスポーツを楽しむ。
スキーは夫婦でSAJ 1級。長男もJr. 1級

Copyright©2021 All rights reserved by Hara Trading



事業ドメイン

機能部材・資材関連（機能部材・製品部）
繊維・生活関連（繊維・生活デザイン部）

横浜市Y-SDGs認証登録

かながわSDGsパートナー



当社の企業理念と存在意義について



基本理念「価値創造経営」

私達は、社会、お客様、取引先、社員に対して常に価値を創造し続ける、「かけがえのない存在」であり続けます。

ビーステートメント - 私たちのあり方 -

私達のアンテナはしなやかで、時代の変化をすばやく鋭くつかみます。

ミッション - 私たちの使命 -

- ・私達はあらゆるネットワークを駆使しお客様のニーズに「カチッ!」とはまる情報と商品を提供します。
- ・私達は環境に配慮した省資源、省力化を創造し、資源循環型社会への転換に貢献します。

(後略)

20世紀型ビジネスの競争軸

- ・自己変革力
 - ・マーケットシェア
 - ・品質
 - ・価格
- (4つの競争軸)

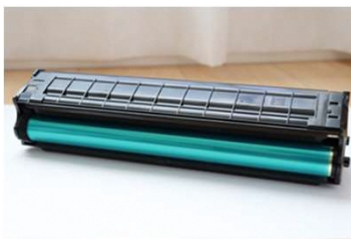
+ 環境・サステナビリティ
(5番目の競争軸として追加) ⇒

21世紀型ビジネスの競争軸
(5つの競争軸)

「出来ることから始めてみる」

リユーストナーカートリッジ1本使うと
SDGsに貢献出来るリーフレット作成

中小企業のSDGs活動の後押し



**確かな品質で、環境に配慮した
リユーストナーカートリッジを選びましょう**

E&Qマークとは
E&Qマークは、リユーストナーカートリッジの品質を確保するために、2011年、日本リユーストナー協会と環境に配慮した製品を開発・製造する企業とが共同で設立されたE&Qマークです。
E&Qマークは、環境に配慮した製品を開発・製造する企業とが共同で設立されたE&Qマークです。
E&Qマークは、環境に配慮した製品を開発・製造する企業とが共同で設立されたE&Qマークです。

STMCとは
STMCは、リユーストナーカートリッジの品質を確保するために、2011年、日本リユーストナー協会と環境に配慮した製品を開発・製造する企業とが共同で設立されたSTMCです。
STMCは、環境に配慮した製品を開発・製造する企業とが共同で設立されたSTMCです。
STMCは、環境に配慮した製品を開発・製造する企業とが共同で設立されたSTMCです。

E&Qマーク・STMCの信頼性
1) E&QマークとSTMCは官公庁の入札条件に採用されています。
2) E&Qマークは環境省の環境ラベルデータベースに登録されています。
3) E&Qマーク付製品は、真正品のみのリユース、複製品、互換品はリユースしません。

使用時に注意! NO偽造品・リユースカートリッジ NOコピー NOクラウド

環境に配慮した製品を開発・製造する企業とが共同で設立されたE&QマークとSTMCは、環境に配慮した製品を開発・製造する企業とが共同で設立されたE&QマークとSTMCです。

環境に配慮した製品を開発・製造する企業とが共同で設立されたE&QマークとSTMCは、環境に配慮した製品を開発・製造する企業とが共同で設立されたE&QマークとSTMCです。

環境に配慮した製品を開発・製造する企業とが共同で設立されたE&QマークとSTMCは、環境に配慮した製品を開発・製造する企業とが共同で設立されたE&QマークとSTMCです。

**SDGs
リユーストナーカートリッジ**

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsとは、「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」のことで、2015年9月の国連サミットにおいて、193の加盟国の全会一致で採択された国際目標です。17のゴール(目標)と169項目のターゲット(達成基準)で構成されており、経済、社会、環境の3つの側面のバランスが取れた社会を2030年までに達成することを目指しています。

SDGsや環境問題に取り組みましょう

SDGsの17のゴールには、環境に関わる分野が多く含まれています。身近な環境問題への取り組みは、SDGsへの貢献につながり、サステナブルな社会を達成する第一歩となります。

Q 環境問題やSDGsに取り組むと、何からはじめればいいのか?

A リユーストナーカートリッジをおすすめします!!

リユーストナーカートリッジとは

日頃、オフィス等で使用されているレーザープリンターのトナーカートリッジが、再利用(リユース)されているのをご存じですか?
使用済みの純正トナーカートリッジは回収され、検査、分解、組立て、トナー充填の工程を経て、リユーストナーカートリッジとして生まれ変わります。環境保護と資源の有効利用を目的としており、急速に普及してきました。



- STEP1 回収**
▼ 使用済みトナーカートリッジを回収します。
- STEP2 受入検査・分解・クリーニング**
▼ 印字検査、外観検査を行い、循環再生が可能かどうか検査します。カートリッジを分解し、廃材部材、再利用可能な部材へ分類します。再利用可能な部材とカートリッジのクリーニングを丁寧に行います。廃材部材は廃棄・再資源化されます。
- STEP3 組立て・トナー充填**
▼ 再利用可能な部材と新しい交換部材を装着し、トナーを充填し、カートリッジを組立てます。
- STEP4 出荷前検査・出荷**
▼ 実際に印字テストを行い、外観検査を行います。検査に合格した製品は出荷されます。

SDGs × リユーストナーカートリッジ

リユーストナーカートリッジを使うと

CO₂の排出量が削減できます
リユーストナーカートリッジを1本使用すると、新たにカートリッジを製造するの compared to、CO₂排出量を約3.4kg削減できます。
(※一般社団法人日本カートリッジリサイクル工業会(AJCR)の試算による)

廃棄物(ゴミ)の再資源化ができます
トナーカートリッジは、再生・使用を数回繰り返したのち、廃棄されます。その際も、金属類やプラスチック等に分別し粉砕され、燃料や資源として再利用されています。使い終わった後も廃棄物を極力出さずに済む、環境に優しい製品です。

SDGsの目標達成にも貢献できます
リユーストナーカートリッジを使用することで、SDGsに取り組むことができます。次の3つが、リユーストナーカートリッジがもたらす効果と関わり深い分野と言えます。

- 12 つばねのマーク (責任ある消費と生産)**
12(つくる責任、つかう責任)
2030年までに、廃棄物の発生を大幅に削減することを目指しています。
- 13 気候変動に具体的な対策を**
13(気候変動に具体的な対策を)
気候変動とその影響に立ち向かうための対策が必要とされています。CO₂は、地球温暖化に及ぼす影響が最も大きな温室効果ガスであり、CO₂を削減することが気候変動対策につながります。
- 14 海の豊かさを守ろう**
14(海の豊かさを守ろう)
2025年までに、海洋ごみをはじめとした海洋汚染を防止・大幅に削減することを目指しています。海洋ごみのうち、生態系に影響を及ぼすために問題視されているのがプラスチックごみです。

小さな試みからはじめる、サステナブルな社会の実現

サステナブルな社会を形成するために、個人はもちろん、企業においてもSDGsへの取り組みが求められています。あらゆる分野での社会的課題と、将来的な視点からのニーズがSDGsに盛り込まれており、社会問題や環境問題に取り組んでいるからか、企業が企業への評価につながりつつあるからです。SDGsに取り組むことが、生存戦略や新たなビジネスチャンスの創出、企業イメージの向上などをもたらします。サステナブルな社会の実現は、皆さんの小さな工夫から。

既に、4,000部以上のリーフレットを配布!

Reuse

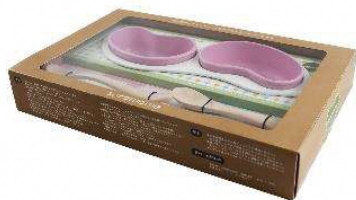


SDGsを意識した商品開発 例 バイオプラスチック食器



サステイナブル素材の商品企画

自社のブランド商品を**サステイナブル素材**に置き換えることにより既存のベビー事業の販路を活用。既存販路と共に、新規販路の営業ツールとしても活用することができました



angelette®
for your sweet baby



バイオプラスチック原料 ベビー食器 Soramame/ソラマメ

・従来のプラスチックより**石油使用量を50%以上削減**できる地球環境にとってもやさしいエシカルな素材です

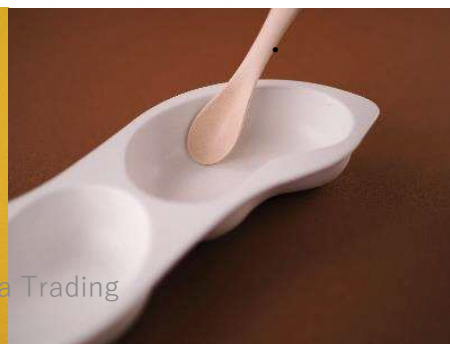
・原料には日本の竹を配合したバイオプラスチックを使用しています

・原材料「竹」は**抗菌効果・抗ウイルス・防カビ**が期待でき、毎日の食事を、**衛生的により安心・安全**にしてくれます

・黄色ブドウ球菌・大腸菌の増殖を減少させる効果、防カビ効果があると、検査結果が出ています



現在、サステイナブル素材を使ったパッケージへの変更も進めています



Copyright©2021 All rights reserved by Hara Trading



車いすを利用される方のために、レインポンチョを開発しました
アウトドアウェアに使われる、本格的な高機能素材で作ったポンチョです
福祉の観点からも社会課題の解決に取り組んでいます

Copyright © 2021 All rights reserved by Hara Trading





1 貧困をなくそう



17 パートナーシップで目標を達成しよう



Bangladeshの貧困層を支援する工場で、オーガニックコットンを使用したベビー用のスタイなどを生産しています。家庭環境などが理由で仕事に就けない Bangladeshの貧困層の雇用創出に貢献しています



5 ジェンダー平等を
実現しよう



8 働きがいも
経済成長も



当社の働き方： コロナ禍でも頑張る社員たち

お互いを思いやり、気遣い合う、そんな社員たちの頑張りに応えるためにも”思いやり手当“を支給

ママさんが大活躍！

当社の女性社員の割合は半数を超えています。子育て中の女性社員も多く、仕事と育児の両立を時間休制度やリモートワークの導入を通じてサポートしています。女性が生き生きと働ける会社です。

70歳の社員が大活躍！

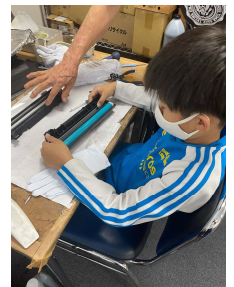
高齢者の雇用、活躍を推進しています。多様な人材が活躍しています。

個別の事情にも寄り添いサポートで全社員が大活躍！

リモートワークや時間休制度は、女性のみならず男性社員も、また介護や通院など事情に応じてそれぞれが活用しています。当社は多様な働き方を支援しています。

リモートワークは、まず風土作りから

Copyright©2021 All rights reserved by Hara Trading



Y-SDGs認証によって、さらにグレードアップ！



【脱炭素への取り組みの加速】

脱炭素に向けたさらなる取り組みの一つとして、再生可能エネルギー由来電気への切り替えを実施しました。



【地元貢献の強化】

横浜FCの「あしながドリーム基金」に協力することにしました。

(神奈川県内の養護施設や小学校の子どもたちを横浜FCのホームゲームに招待しスポーツの素晴らしさを改めて実感してもらう基金)

【各部門内で、各自が仕事とSDGsを結び付けて考えられるように変化】

社内各部門では、既存のビジネスの拡充や商品開発にあたり、SDGsの視点に立った考え方で取り組むように変化してきています。

環境関連を中心に、SDGsの様々な目標を達成できるようなサービスを提供しようと工夫をこらしています。

Y-SDGs認証で
学びと成長の
機会になった

【SDGsを通じて、部署間の連携・協力が広がった】

社内では、SDGsの取り組みについて、部門を超えての協力や意見交換をする機会が増えました。それぞれが部門ごとにSDGsとビジネスを結び付けて考えることはもちろん、会社としてのSDGs活動における課題を協力して解決したり、情報を共有するなど、一体感のある活発な動きになってきています。

Copyright©2021 All rights reserved by Hara Trading





中小企業にどのようにしたらSDGs活動を普及させることが出来るか？ というテーマで、大学の研究に協力しています

大学と県が連携・協働し、地域課題の解決に向けて取り組む「大学発・事業提案制度」である、専修大学の「SDGsの浸透・普及のための啓蒙活動～神奈川県の中企業を対象に～」の研究に協力しました。

SDGs活動を実践している企業の立場として講演会に招かれました。取り組み事例の発表や、中企業がSDGs活動をするにあたっての課題について意見交換しました。

自治体・教育機関と連携しての、SDGsについての新しい形での取り組みは、当社としても学ぶことが多く貴重な経験となりました。

**Z世代の学生や神奈川県の中企業からの質問に答える
(オンライン・パネルディスカッション) →**

Copyright©2021 All rights reserved by Hara Trading



金融タスクフォースの皆様へ

当社が抱えている課題→他の中小企業も抱えている

●中小企業はSDGsやCSRのためのリソースが不足している

当社は「Our Business x SDGs」を推進しています。
 「中小企業こそSDGsをビジネスにつなげるべき！」



- 社内でSDGs活動が効率よく進み、新規取引先が増えました。
- 取引先が当社を取引先として選んでくれるようになりました。



●中小企業は情報発信のためのリソースが不足している

地元メディアや業界紙から取材を受けることで、
 当社の取り組みをアピールする機会が増えました。

- 社員が頑張っている姿を社外にも知ってもらえるようになりました。
- 自分たちの仕事に誇りを持てるようになりました。
- 全員が楽しく、さらに良い方向を目指して取り組めるようになりました。
- 子供達にも自慢が出来るし、仕事に誇りを持てるようになりました。



中小企業は「トップの覚悟」こそ、 SDGs活動の第一歩！



ご清聴ありがとうございました。
お引き合い、ご質問ある方はご連絡下さい。

(連絡先)

原貿易株式会社
代表取締役社長 江守雅人
eigyoun@harabo.co.jp



横浜市SDGs認証制度



(横浜市SDGs認証制度 / 私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。)